

つなぐ

池上総合病院 広報誌

Vol. 5

2019.2.20発行

Ikegami General Hospital

【つなぐ】～地域の方々と医療をつなぎ、信頼される病院を目指して～

『下肢静脈瘤 専門外来』が3月より始まります！

かしじょうみゃくりゅう

下肢静脈瘤 って？



LET'S
CHECK!

足がむくむ、血管が浮き出る。

その症状は「下肢静脈瘤」かもしれません。

「下肢静脈瘤」とは、足の血管がコブのようになる病気です。

症状はほとんどがふくらはぎに起こります。

足に血液がたまることによっておこるので、午後から夕方に強くなるのが特徴です。



診断チェックリスト

- 足の血管が浮き出て見える
- ふくらはぎがだるい・重苦感
- 足のむくみがある
- 足がつることがある
- 足がほてる・熱く感じる
- 足のむずむず感・不快感がある
- 足のかゆみ・湿疹がある
- 足の色素沈着がある
- 足の腫瘍がある



診察から診断までの流れ

まずは受診しましょう！

問診

問診票の内容から仕事や生活習慣などを聞き、他の病気によるものではないか見極めます。

視診

患部を診て下肢静脈瘤の場所や膨らみ具合、むくみや皮膚の変色がないか確認します。

触診

むくみの有無や皮膚表面の状態、皮膚の厚さや硬さ、押して痛みがあるかなどを調べます。

エコー検査

超音波で足の静脈の状態を確認します。30分～40分程度で終了します。検査結果によっては、CTなどの検査を追加することもあります。

診断

通常診察・検査はすべて保険適用となります。

心臓血管外科診療時間

※金曜日午後は予約診療のみ（2019年3月末まで）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--|--------------------|---|--------------------|---|----|---|
| 午前 9:00～12:00 受付時間 8:30～11:30 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 午後 14:00～17:00 受付時間 13:30～16:00 | ● 下肢静脈瘤 専門外来 | | ● 下肢静脈瘤 専門外来 | | ●※ | |



下肢静脈瘤検査のご予約・お問い合わせはこちら

電話予約センター

☎0120-56-0356

受付時間：8:30～16:00
月曜日～金曜日（祝祭日除く）

池上総合病院 【放射線室】

放射線室では、主に放射線を利用する画像検査を行っています。医師からの依頼内容に応じて、適切な放射線量で目的とする診断に適した画像を提供するよう努めています。近年では、検査時の放射線被曝を気にされる患者様が増えてきておりますが、そういった患者様の相談や質問にお答えし、安心して検査を受けられるようにサポートすることも、私たち「診療放射線技師」の仕事です。



【放射線室の看板機器 CTとMRIについて】

当院では2017年にMRIの増設と新型CTの導入を行いました。CTとMRIがそれぞれ2台体制となったことで以前より検査を受け入れやすくなりました。

「CTとMRIは何が違うの？」



それぞれの検査の特徴を簡単にご紹介します。

CTの特徴

- 放射線を使用する = 被曝がある
- 検査時間が短い（簡単な検査なら数秒で広範囲の撮影が可能）
- 体の動きに強い（心臓の拍動、腸の蠕動など）
- 一度の撮影で様々な角度の画像や3Dの画像も簡単に作成可能

128マルチスライスCT撮影装置



画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社

検査はベッドに寝ているだけで終了します。

今まで設置されていたCTと比較し、倍の速さで撮影が出来るため、検査種類によっては息止めがもっと楽になります。

新しい技術により最大60%の被ばく低減が可能

当院の装置は、**画質を損なわず被ばく線量を大きく低減する**有望な方法として、逐次近似画像再構成法を用いております。**“最大60%の被ばく低減効果”**を可能としFDA（米国食品医薬品局）において唯一承認されている方法となります。

撮影時

4.1秒
（参考値）



MRIの特徴

1.5T MRI装置

- 磁気と電波を使用する = 被曝がない
- 検査時間が長め（簡単な検査でも20分程度）
- 検査中に大きな音がする
- 体の動きに弱い
- 撮影の種類が豊富であり、造影剤を使わずに血管などを描出することも可能。



画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社



短いガントリとオープン型コイル、やわらかい1kg以下の軽量な受信コイルですので、圧迫感による息苦しさや不快感を低減します。

このように撮影装置の種類によって得意・不得意があり、描出される画像にもそれぞれの特徴があるため、疑わしい疾患に応じて医師が最適な検査方法を選択しています。

【ちょっと放射線被ばくの話】

放射線検査による被ばくの影響を気になさる患者様は多くいらっしゃいます。放射線技師はその質問に対し、検査内容を把握した上でお答えしています。放射線治療や長時間に及ぶカテーテル治療検査以外は、「体に影響が出ることはありませんよ」とお答えしています。一度に大量の被ばくがない限り、即座に影響が出ることはないのです。たとえば、胸部レントゲンでは0.06ミリシーベルト程度、CT検査では部位にもよりますが10ミリシーベルトくらいです。（※シーベルト：放射線の人体への影響を示す単位）

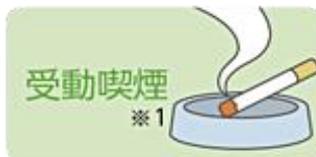
放射線被ばくによって人体の細胞内の遺伝子（DNA）は傷つきます。しかし、人体の修復機能によって、傷ついたDNAは回復するのです。短時間の少ない量の被ばくが何ヶ月も何年間も蓄積し続ける訳ではありません。しかし、DNAが正しく修復されなかった場合に、発がんリスク要因の一つになりうると言われています。では放射線被ばくによる発がんリスクとはどのくらいか…。 環境省のホームページにこんな資料がありました。

〈参考〉発がんリスクの要因など

※ 環境省 放射性物質汚染廃棄物処理情報サイトより抜粋



1,000～2,000
ミリシーベルト相当



100～200
ミリシーベルト相当



200～500
ミリシーベルト相当



100～200
ミリシーベルト相当

※1 夫が非喫煙者である女性グループに対し、夫が喫煙者であるグループのリスク

※2 BMI（身長と体重から計算される肥満指数）23.0～24.9のグループに対し、BMI≥30のグループのリスク。

※3 1日当たり420g摂取のグループに対し、1日当たり110gのグループのリスク（中央値）

出典：「低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ報告書 平成23年12月 内閣官房」

単純に比較することが必ずしも適切ではありませんが、レントゲン撮影やCT検査よりも生活習慣による発がんリスクの方がよほど高いのです。

放射線検査の被ばくを受けるのは患者様ですので、検査をするかしないか、最終的な選択権は患者様にあります。しかし、その検査をしないことで病気が見つけれず重症化する可能性もある、ということを理解してほしいと思います。放射線検査による被ばくが少しでも減らせるよう、患者様が安心して検査を受けられるよう、知識・技術の向上に努めてまいりますので、不安に思われる場合にはお気軽に放射線室までご相談下さい。

2019年

3・4
月

医療講演・セミナー・教室 日程のご案内

参加費無料



□ 3/1 (金) 11時～

医療講演 B館8階会議室

「早期発見で
乳がんは
怖くない」
町村 貴郎 医師

□ 3/8 (金) 10時～

糖尿病教室 B館8階会議室

「糖尿病の食事療法」
管理栄養士

□ 3/28 (木) 10時30分～

在宅介護セミナー
B館8階会議室

「□□モ体操」
理学療法士

□ 毎週火曜日

(3/5・12・19・25

4/2・9・16・23)

A館1階ロビー 10時～12時

「ふれあい看護」

BMI、血圧、体脂肪測定
看護相談など

ぜひ、かかりつけの
医院にご相談ください。



「胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）のご予約について」

当院では2019年2月1日より、胃カメラ検査（上部消化管内視鏡検査）のご予約が、かかりつけの医院様よりお電話にて直接できるようになりました。従来までは紹介状をお持ちいただき、診察後に検査の予約をお取りしていましたが、一度の来院で検査までできる体制となりました。

□ 基本的に経口検査になります。（経鼻希望の方は事前にお問い合わせください）

□ 検査中に生検^{*}を取った場合は、当院で結果説明を行います。

^{*}生検とは：病変の一部を採って、顕微鏡で詳しく調べる検査です。

医療法人社団 松和会

池上総合病院

〒146-8531

東京都大田区池上6-1-19

TEL03-3752-3151(代)

FAX03-3752-2612